

# 梅田敏文先生 退職記念号発刊にあたって

梅田敏文先生が、2019年3月をもって本学を退職されます。先生は、ビジネス学部・ビジネス研究科創設以来のメンバーとして、学部・研究科とともに歩まれ、その基礎を確立されました。先生の功績を讃へ、感謝の意を表するため、『愛知淑徳大学論集 ビジネス学部・ビジネス研究科篇』を、梅田敏文先生の退職記念号として発刊いたします。

梅田敏文先生は、1971年に京都大学文学部を卒業後、日本アイ・ビー・エムに入社され、在職中は、おもに銀行を中心とした金融分野のシステム開発を担当されました。まず、システムエンジニアとして第2次オンラインシステム構築、銀行業務スペシャリストとして経営情報システムの構築に参加し、またマネージャとして、さらに研修部門のコンサルタントとして、巨大IT企業の第一線で活躍されました。

1999年4月に本学のビジネスコミュニケーション研究所開設とともに教授として着任され、コミュニケーション学部等をへて、2004年には新設されたビジネス学部に移籍され、翌2005年にはビジネス研究科教授を兼務され、現在に至っております。

学務においては、情報システム支援部長、情報教育センター長を務められました。これらはまさに先生のご専門の領域であり、在任中には本学の情報システムの整備、情報教育の充実に尽されました。その後は、ビジネス学部長、ビジネス研究科長などの重職を歴任されました。とくに、ビジネス学部長時代には、カリキュラム体系と学生スキル育成方法の構築に尽力されました。また、2010年のキャンパス移転にあたり、在校生への経緯説明、新カリキュラムの導入など、さまざまな作業にリーダーシップを発揮されました。先生のご尽力の結果、キャンパス移転はスムーズに実施され、今日のビジネス学部の礎が完成しました。

研究者としての先生は、経営情報学会を中心に、情報技術や情報倫理の多数の論文を発表され、研究部会主査を務めるとともに、2002年からの2年間は、学会理事として活躍されました。教育者としては、着任当初のコンピュータ関連科目から「情報倫理」「ITと職業倫理」「ビジネスプレゼンテーション」「問題解決入門」までの多様な専門科目を担当され、学部生向けのテキストを執筆されるなど、きめ細かな教育活動を展開されました。またゼミナールでの実践的教育を通じて、多くの有為な人材をビジネスの世界に送りだされました。

学務・研究・教育における上記のような功績により、先生は本学名誉教授となります。この年度末をもって先生をお送りしなければならないのは誠に残念なことではありますが、これまでもましてビジネス学部・研究科を発展させるべく微力を尽くすことをお約束し、あわせて先生のますますのご健勝をお祈りして、退職記念号のご挨拶といたします。

梅田敏文先生、長い間、本当にありがとうございました。

2019年3月

ビジネス学部長 三浦克人